

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 恒和会	事業所名	看護小規模多機能サンリンク
所在地	(〒742-0032) 柳井市古開作 479-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

1. 安定した稼働率の維持
2. 働きやすい職場の実現
3. 法人理念を理解し、実践する
4. ゆうわ総合サポートセンターの役割の理解と事業所としての実践

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 12 月 5 日	従業者等自己評価 実施人数	(19) 人 む	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 3 月 16 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (〃 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (5 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (〃 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (〃 人) <input type="checkbox"/> その他 (〃 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機らしいケアを継続して行っている、更に本人や家族の負担軽減になるよう工夫していく。 ・職員の能力の差がどうしてもあり、ケアの統一が難しい場面もあった為、研修を積極的に部署内でも行い、参加できるような体制を築き、能力の差を埋めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療のニーズの高い方は他の介護施設では受け入れられず、なるべく受け入れられている。 ・在宅での家族の負担軽減のためショートを使い調整している。 ・経験の浅い職員もいるため全員が研修を受ける体制をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の情報共有はほぼできている。 ・研修、新人研修、育成計画に関して、時間がとれない、不十分との意見あり。 ・研修内容の充実と効率化をすすめ、質の高いケアを提供してほしい。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護職員それぞれが協力し、引き続きアセスメントや計画作成を行っている。 ・情報の共有が不十分な部分や、情報収集の能力に差が見られたので、できている職員ができていない職員に教える事ができるような体制を築く。また、研修なども行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態に合わせて、福祉用具の変更、利用日数の変更等をしている。 ・新規利用者の疾病についての勉強会を看護師中心に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の変化に対しては、早急に医師に報告し、対応している。 ・通い、泊りの利用者に偏りがある。訪問件数が少ない。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も退院、退所前カンファに参加して、円滑な在宅生活の移行に努める。 ・緊急時等、24時間対応できる体制を今以上に築き、もっと利用者や家族が安心して在宅でも過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院前には、ケアマネや看護師が参加し、情報の共有、医療ケアの継続を図っている。 ・訪看が24時間オンコール体制をとっている。また病院との連携もできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護が内包している事もあり、病院との連携はよくできている。 ・利用者様の安心感につながっている。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員という事を自覚し、運営推進会議などでこちらから情報や提案など発信できるような関係性を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は2か月に1度開催しており、その時々々の情報も発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議事録は窓口に設置してあるが職員は目を通していない。

	の参画(評価項目 32~41)	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等研修を一人でも多く受けてもらい、体制をより強固にする。 ・人工呼吸器を使用している利用者の体制を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年、研修を一人受講。来年度も一人受講予定あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係者への課題提起、近隣住民への取り組みは介護教室を開いている。 ・運営推進会議録の回覧や掲示等、内容にふれる機会を工夫してほしい。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も看多機について理解が乏しい利用者や家族がいると思われる為、どの職員でも寄り添い、丁寧な説明を行う事ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のケースに応じて提供できるサービスの種類の説明を家族や職員にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りなど医療ケアに対しては達成されている。 ・誰に聞いても他の職員につなぐことなく同じ内容の回答となり、質問者に合わせた説明ができることが理想。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します